

式

順

輔 祭 主、イイスス・ハリストス神の子よ、爾が至淨の母と諸聖人の祈禱によりて、われらを憐み給え。



ア ミン

大 聯 禱

輔 祭 われら安和にして主に祈らん。



主あわれめよ

輔 祭 上より降る安和と、われらが靈の救いのために主に祈らん。



主あわれめよ

(以下同じ)

輔 祭 全世界の安和、神の聖なる諸教会の堅立、および衆人の合一のために主に祈らん。

輔 祭 この聖堂、および信と慎みと神を畏るゝ心とをもって此処に來たる者のために主に祈らん。

輔 祭 教会を司どるわれらの府主教アントニオ・セラフィム、主教セラフィム、司祭の尊品、ハリストスによる輔祭職、悉くの教衆、及び衆のために主に祈らん。

輔 祭 わが国の天皇及び国を司どるものゝために主に祈らん。

輔 祭 この都邑とおよその都邑と地方、および信をもって、この中におるものゝために主に祈らん。

輔 祭 気候順和、五穀豊穣、天下泰平のために主に祈らん。

輔 祭 航海するもの、旅行するもの、病を患うるもの、艱難に遭うものの、俘となりしもの、および彼らの救いのために主に祈らん。

輔 祭 われら諸々の憂と、怒りと、危うきとを免かるゝがために主に祈らん。

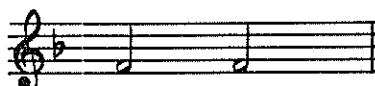
輔 祭 神や、爾の恩寵をもって、我らを佑け、救い、憐み、護れよ。

輔 祭 至聖、至潔にして至りて讃美たるわれらの光榮の女宰、生神女永貞童女マリヤと諸聖人とを記憶して、われら己の身、および互いに各々の身をもって、並びに悉くのわれらの生命をもって、ハリストス神に委託せん。



主なんじに

輔祭 主、イイスス・ハリストス神の子よ、爾が至淨の母と諸聖人と
の祈禱によりて、われらを憐み給え。



アミン

第一アンティフォン



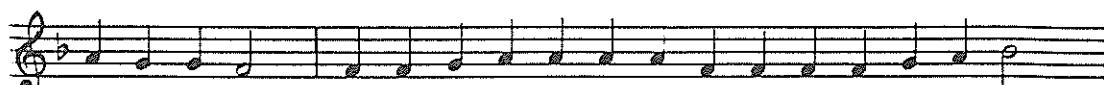
わがたましいや主をほめあげよ、主やなんじ



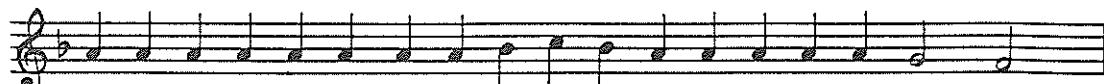
はあがめほめらる、わがたましいや主をほ



めあげよ、わがちゅうしんやそのせいなる名をほ



めあげよ、わがたましいや主をほめあげよ、



かれがことごとくの恩をわするるなかれ、



かれは、なんじがもろもろの不法をゆるし、なんじが



小聯禱

輔祭 われら、また又、安和にして主に祈らん。



主あわれめよ

輔祭 神よ、爾の恩寵をもってわれらを佑け、救い、憐み、護れよ。



主あわれめよ

輔祭 至聖、至潔にして至りて讃美たるわれらの光榮の女宰、生神女
永貞童女マリヤと諸聖人とを記憶して、われら己の身、および互
いに各々の身をもって、並びに悉くのわれらの生命をもって、ハ
リストス神に委託せん。



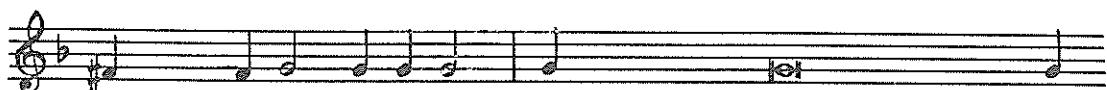
主なんじに

輔 祭 主、イイスス・ハリストス神の子よ、爾が至淨の母と諸聖人と
の祈禱によりて、われらを憐み給え。

第二アンティフォン



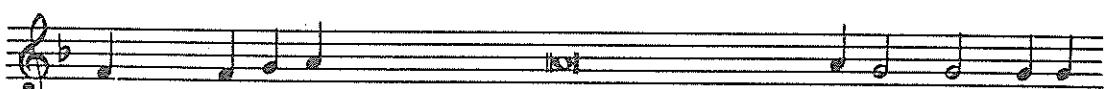
ア ミン 光 えいは ちちと 子と せいしんに きす、 いまも



いつも よよに アミン、 神の 独生の 子ならびに こと



ば や、 死せざるものにして 我らを すぐわんがため



あまんじて せいなる 生神女 永貞童女 マリヤより みをとり、 神



の性をかえずして ひととなり 十字架にくぎうたれ、 死をもって



死をふみやぶりし ハリス 神や、 せい三者の いつと



して、 ちちと せいしんとともに さんえいせらるるの



主 や、わ れ ら を す く い た ま 元

小 聯 祷

輔 祭 われら、また又、安和にして主に祈らん。神や、爾の恩寵をもって、われらを佑け、救い、憐み、護れよ。



主 あ わ れ め よ、主 あ わ れ め よ

輔 祭 至聖、至潔にして、至りて讃美たるわれらの光榮の女宰、生女神、永貞童女マリヤと諸聖人とを記憶して、われら己の身、および互いに各々の身をもって、並びに悉くのわれらの生命をもってハリストス神に委託せん。



主 な ん じ に

輔 祭 主、イイスス・ハリストス神の子よ、爾が至浄の母と諸聖人の祈禱によりて、われらを憐み護れよ。



ア ミン ア ミン

真 福 詞



主 よ な ん じ の く に に き た ら ん と き わ れ ら を お も い た ま え、



こ こ ろ の ま ず し き も の は さい わ い な り、天 ご く は



か れ ら の も の な れ ば な り、な く も の は さ い わ

いな り、かれらはなぐさみをえんとすればな り、

おんじゅうなるもの はさいわいな り、かれらは地を

つがんとすればな り、義 にうえかわくものは

さいわいな り、かれらはあくをえんとすればな り、

あわれみあるもの は、さいわいな りかれらは

あわれみをえんとすればな り、こころのきよき

ものはさいわいな り、かれらはかみをみんとすれば

な り わへ いを おこのうものは さいわいな り、

かれらはかみの子と名づけられんとすればな り、

義のため に きんちくせらるるものはさいわいな り、

天ごくはかれらのものなればなり、ひとわがた
 めになんじらをののしりきんちくしなんじらのことを
 いつわりてもろもろのあしきことばをいわんときなんじらさいわいなり、
 よろこび、たのしめよ天には
 なんじらのむくいおおければなり、

輔祭 叡智。謹みて立て。

きたれハリストスのまえにふしおがまん、かみの子
 [1.死よりふくかつせし主やなんじにアリルイヤを
 2.生神女のきとうによつてや
 3.聖人におごそかにあらわるるの主や]
 たてまつるわれらをすくいたまえ

復活のトロパリ

第一調

トロパリ
 (1) 救世主やイウデヤのひとはかを封じて、へい

そつなんじのいさぎよきみをまもると き、なんじはみつか
 めにふくか つして、せかいにいのちをたまえり。
 ゆえ に天軍はなんじいのちをほどこすの主によんで
 言う、ハリストスや 光えいはなんじのふくかつに きし、光
 えいはなんじのくににきす、ひとりひとりをいつくし
 むの主や、光えいはなんじのおもんばかりにきす

第二 調

トロパリ(2)

死せざるいのちやなんじ死にくだりしと
 き、かみの性のひかりにてじごくをころせり。
 死せしものを地下よりふくかつせしめしと き、天

軍みなよんでいえり、いのちをたもうの主ハリストス
わがかみや、光えいはなんじにきす

第三調

トロパリ(3)

天にあるものたのしめよ、地にあるものよ
ろこべよ、主はそのひじのちからをあらわし
て死をもって死をほろぼし、ふくかつのはじめと
なりわれらを地ごくのはらよりすくい、
世かいにおおいなるあわれみをたまえばなり

第四調

トロパリ(4)

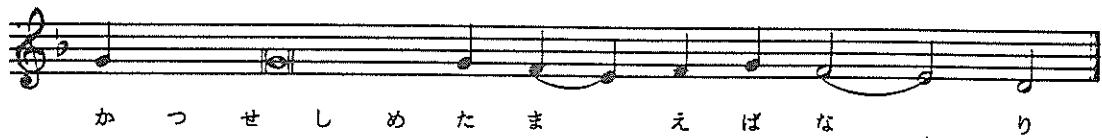
主のおんなでしはふくかつのはかるおとづれを、

かみのつかいよりききうけ て、元祖よりのていざいを
 ふる いすて 使徒にはこりていえ り、死はほろ
 ほされ バストス かみはふくかつして、世かいにおおい
 なる あわれみを たまえり

第一五調

トロパリ(5)

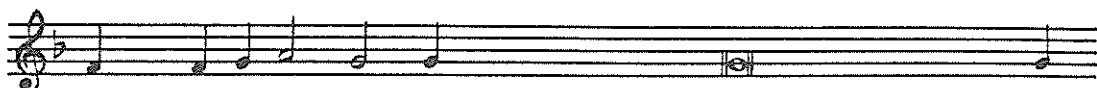
信者やちちとせいしんとともに、はじめなき
 ことばわがすくいのために、童てい女よ
 りうまれしものをほめうとうておがむべし、かれあ
 まんじてその身にて十字架にのぼり、死をしのび
 その光えいのふくかつにて、死せしものをふく



第 六 調



(6) 神使の軍なんじのはかにあらわれしに、番べい死せる



もののごとし、マリヤはかにたちてなんじのいさぎよき



からだをたずねりなんじはちごくにいざなわれずして

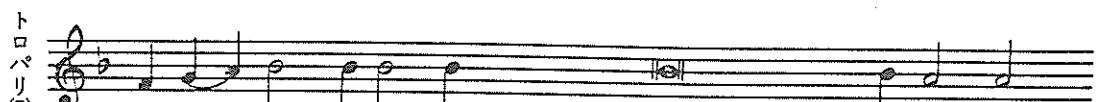


ちごくをとりこにし、いのちをたもうて処女にあいたまえ



り、死よりふくかつせし主や、光えいはなんじにきす

第 七 調



(7) ハリストスかみや、なんじは十字架にて死をほろぼし、



とうぞくのために天堂をひらき、鶯香女のかなしみ



をなぐきめ、使徒になんじがふくかつして、世界におおい

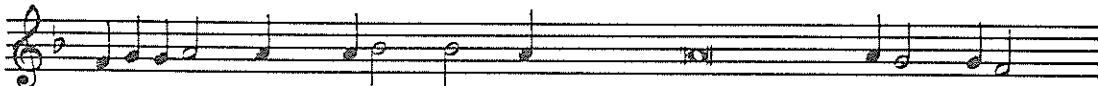


なるあわれみをたまいしをつたえさせたまえり

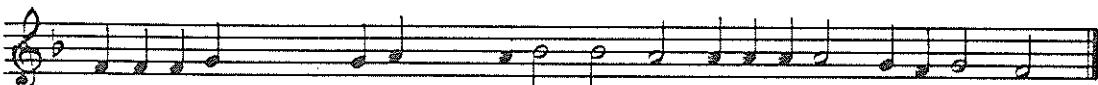
第 八 調



めぐみふかき主や、なんじはたかきよりくだり、



みつかのほうむりをうけて、われらをくるしみよりときたまえり、



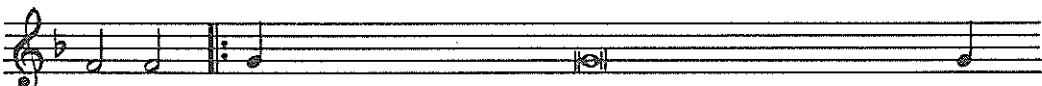
わがいのちとふくかつなる主や、光えいはなんじにきす

輔 祭 主や、敬虔なるものを救い、およびわれらに聴き給え。



主よ、けいけんなるものをすくい、およびわれらにききいれたまえ

輔 祭 世々に。

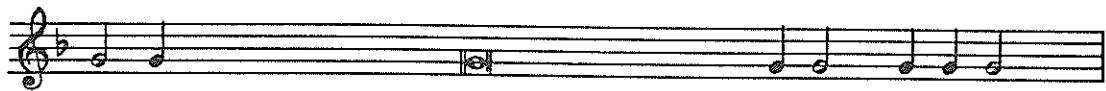


アミン せいなるかみ、せいなるゆうき、せいなる常生のもの

三度



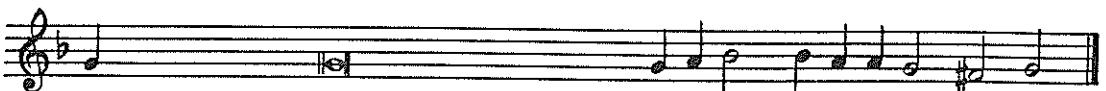
や、われらをあわれめよ



光えいはちちとことせいしんにきすいまもいつも よよ に、アミン。



せいなる常生のものや、われら をあわれめ よ せいなる



かみ、せいなるゆうきせいなる常生のものや、われら をあわれめ よ

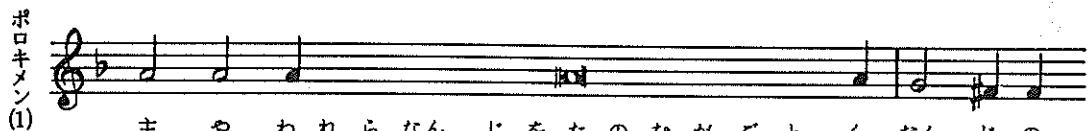
ボロキメン

輔 祭 徒智。ボロキメン。 (同じ場所で「聖使徒經」を捧持して)

第一調

輔 祭 主よ、われら爾を持むが如く』爾の憐みをわれらに垂れ給え。
詠 隊 主よ、われら爾を持むが如く、爾の憐みをわれらに垂れ給え。
輔 祭 『句』義人よ主のために悦べ、讃榮するは義者に適う。
詠 隊 主よ、われら爾を持むが如く、爾の憐みをわれらに垂れ給え。
輔 祭 主よ、われら爾を持むが如く。
詠 隊 爾の憐みをわれらに垂れ給え。

(以下各調ともこの順序要領による)



主 や、わ れ ら な ん じ を た の む が ご と く、な ん じ の



あ わ れ み を、わ れ ら に た れ た ま え

第二調

輔 祭 主は、わが力わが歌なり』彼はわが救いとなれり。
詠 隊 『句』主は厳しくわれを罰したれど、われを死に渡さざりき。

ボロキメン
(2)

主はわがちからとわがうたなり、かれは
わがすくいとなれり

第三 調

輔 祭 わが神に歌い歌えよ』わが王に歌い歌えよ。
詠 隊 『句』万民よ、手を打ち悦びの声をもって神に呼べ。

ボロキメン
(3)

わがかみにうたいうたえよ、わが王にうたいうたえよ

第四 調

輔 祭 主よ、爾の仕業は何ぞ多き』みな智恵をもって作れり。
詠 隊 『句』わが靈よ、主を讃め揚げよ、主わが神よ、爾は至りて大
いなり。

ボロキメン
(4)

主やなんじのしわざはなんぞ多きや、
みなちえをもつてつくれり

第五 調

輔 祭 主や、爾はわれらを保ち、われらを護りて』この世より永遠に
至らん。
詠 隊 『句』主よ、われらを救い給え、蓋し義人は絶えたり。

ボロ
キメン
(5)

主 や なん じ わ れ ら を た もち わ れ ら を ま もり て、

こ の よ よ り ん い えん に い た らん

第 六 調

輔 祭 主よ、爾の民を救い』爾の業に福を降し給え。

詠 隊 『句』主よ、われ爾に呼ぶ、われの堅めよ、わがために黙すな
かれ。

ボロ
キメン

(6) 主 や なん じ の た み を す く い、 なん じ の 業 に ふ く を

く だ し た ま え

第 七 調

輔 祭 主は、その民に力を賜い』主は、その民に平安の福を降さん。

詠 隊 『句』神の諸子よ、主に獻ぜよ、光栄と尊貴とを主に獻ぜよ。

ボロ
キメン

(7) 主 は そ の た み に ち から を た ま い、 主 は そ の た み

に へ い あ ん の ふ く を く だ さ ん

第一 八 調

輔 祭 主爾らの神に』誓いをなして償えよ。
詠 隊 『句』神はイウデヤに知られ、その名はイズライリに大いなり。

ボロキメン

(8) 主なんじらのかみに、ちかいをなしてつぐなえよ

輔 祭 敘智。聖使徒パウエルがロマ人（またはコリンフ人……等）に達する書の読み。
輔 祭 謹みて聴くべし。
輔 祭 [聖使徒經]本文の読み。（当該主日の章、節、目〔端〕による）

書礼の後

アリルイヤ、アリルイヤ、アリルイヤ

輔 祭 敘智。謹みて立て、聖福音經を聴くべし。
輔 祭 「……伝」による聖福音經の読み。

福音の前後

主や光えいはなんじにきし、光えいはなんじにきす

輔 祭 [聖福音經]本文の読み。（当該主日の章、節、目〔端〕による）
聖福音經を読むときは衆人に向って読んでもよいが祝福の言動をしてはならない。

福音の前後

主や光えいはなんじにきし、光えいはなんじにきす

重 聯 禱

輔 祭 われらみな靈を全うして言わん、われらの思いを全うして言わん。

主あわれめよ

輔 祭 主全能者、わが列祖の神や、爾に祈る、聽き入れて憐めよ。

A musical score in G clef, common time. The notes are quarter notes and eighth notes. The lyrics '主 あ わ れ め よ' are written below the staff.

輔 祭 神や、爾の大いなる憐みによりてわれらを憐めよ、爾に祈る、
聽き入れて憐めよ。

A musical score in G clef, common time. The notes are quarter notes and eighth notes. The lyrics '主あわれめ、主あわれめ、主 あ わ れ め よ' are written below the staff.

(以下同じ)

輔 祭 また、わが国の天皇および国を司どる者のために主に祈る。

輔 祭 また、教会を司どる尊貴なるわれらの府主教^{2番}ニコライ・主
教セラフィムおよびハリストスに於ける悉くのわれらの兄弟のた
めに祈る。

輔 祭 また、われらの兄弟、諸司祭、諸修道司祭、およびハリストス
に於けるわれらの衆兄弟のために祈る。

輔 祭 また、常に記憶せらるゝこの聖堂の建立者、および既に眠りし
悉くの父祖兄弟、この処と諸方とに葬られたる正教の者のために
祈る。

輔 祭 また、この至尊なる聖堂に物を奉り、善業を行い、これに勞し、
これに歌い、および此處に立ちて、爾の大いにして豊なる憐みを
仰ぎ望む者のために祈る。

輔 祭 主、イイスス・ハリストス神の子よ、爾が至淨の母と諸聖人との
祈禱によりて、われらを憐み給え。

A musical score in G clef, common time. The notes are quarter notes and eighth notes.

ア ミン

死 者 の 聯 禱

輔 祭 神や、爾の大いなる憐みによりて、われらを憐めよ、爾に祈る
聽き入れて憐めよ。

A musical score in G clef, common time. The notes are quarter notes and eighth notes. The lyrics '主 あ わ れ め、主 あ わ れ め、主 あ わ れ め よ' are written below the staff.

(以下同じ)

輔 祭 また、眠りし神の僕(婢)〔聖名某〕の靈の安息のため、およ
び彼(ら)に凡そ自由と自由ならざる罪の赦されんがために祈る。

輔 祭 主、神が彼（ら）の靈を諸義人の安息するところに入れ賜わんことを祈る。

輔 祭 彼(ら)に神の憐みと天国と諸罪の赦しとを賜わんことを、ハリストスわが死せざる王および神に願う。 *1

The musical score consists of three measures of music for a single voice. The key signature is one flat, and the time signature is common time. Measure 1 starts with a half note followed by a dotted half note, then a quarter note, a dotted half note, another quarter note, and a dotted half note. Measure 2 starts with a quarter note, followed by a dotted half note, then a quarter note, a dotted half note, another quarter note, and a dotted half note. Measure 3 starts with a quarter note, followed by a dotted half note, then a quarter note, a dotted half note, another quarter note, and a dotted half note. The lyrics 'まなきよまわぬめよ」 are written below the notes.

輔 築 主に祈らん。 * 2

輔祭　主、イイスス・ハリストス神の子よ、爾が至淨の母と諸聖人と
の祈禱によりて、われらを隣み給え。＊3

增 職 種

輔 築 われら、主の前にわが祈りを増し加えん。①

A musical score for 'AWAREMEYO' featuring two staves. The first staff (measures 1-4) starts with a treble clef, a key signature of one sharp, and a common time signature. It consists of four measures of quarter notes followed by a repeat sign. The second staff (measures 5-8) starts with a bass clef, a key signature of one sharp, and a common time signature. It consists of four measures of quarter notes.

輔 祭 この聖堂、および信と謹みと神を畏るゝ心とをもって、此処に來たるものゝために主に祈らん。②（以下同じ）

輔 祭 われら、諸々の憂と、怒りと、危うきとを免かるゝがために主に祈らん。

輔 祭 神や、爾の恩寵をもって、われらを佑け、救い、憐み、護れよ
輔 祭 この日の紳全、成聖、平安、無罪ならんことを主に求む。

A musical score for a single melodic line. It features a treble clef at the top left, followed by a key signature of one flat (B-flat). The music consists of six vertical stems, each ending in a small oval. Below the stems, the lyrics '主たまえよ' are written in a traditional Japanese font. To the right of the lyrics, the text '(以下同じ)' indicates that the same musical pattern continues.

輔 祭 平安の神使、正しき教導師、わが靈体の守護者を賜わんことを
主に求む。

輔 祭 われらの罪と過ちとを宥め、赦さんことを主に求む。

輔 祭 われらの靈に善にして益あること、および世界に平安を賜わんことを主に求む。

輔 祭 われらの生命の余日を平安と、痛悔とをもって終らんことを主に求む。

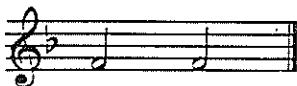
輔 祭 われらの生命の終りがハリストティアニンに適い、病なく、耻なく、平安なること、およびハリストスの畏るべき審判に於て宜しき答えをなすを賜わんことを求む。

輔 祭 至聖、至潔にして至りて讃美たるわれらの光栄の女宰、生神女永貞童女マリヤと諸聖人とを記憶して、われら己の身、および互に各々の身をもって、並びに悉くのわれらの生命をもってハリストス神に委託せん。



主 なん じ に

輔 祭 主、イイスス・ハリストス神の子よ、爾が至浄の母と諸聖人の祈禱によりてわれらを憐み給え。



ア ミン

輔 祭 門、門、謹しみて聴くべし。

信

経



われ信すひとつのかみ ちち全能 者、天と地見ゆる



と見えざるばんぶつをつくりし主を、また信すひとつの主



イイススハリストスかみのどくせいの子、よろずよのさきにちぢより



うまれひかりよりのひかりまことのかみよりのまことのかみ



うまれしものにてつくられしにあらず、ちぢといつたいたいに

してばんぶつかれにつくられ われらひとつとのためまた

われらのすくいのために天よりくだり。せいしんおよび童貞

女マリヤより身をとりひとつとなり、われらのためにポンティ

ピラトのとき十字架にくぎうたれ、くるしみをうけほうむら

れ、だい三じつにせいしょにかのかのうてふくかつし天にのほり

ちちのみぎにざし、光えいをあらわしていくるものと死せ

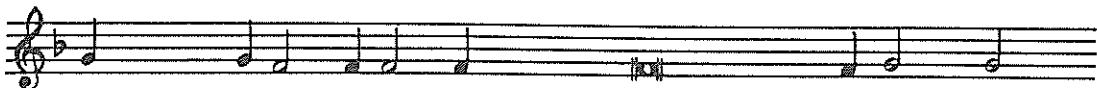
しものをしんばんするためにまたきたり、そのくにおわりな

からんをまた信ずせいしん主いのちをほどこすものちちより

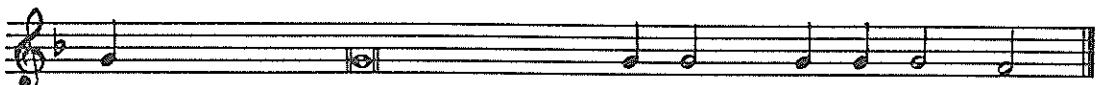
いで、ちちおよび子とともにおがまれほめられ予言者をもって

かつていいしを、また信ずひとつのせいなるおおやけなる

使徒の教かいを、われみとむひとつの洗礼もってつみの



ゆるしをうるを、われのぞむ死者のふくかつ



ならびにらいせいのいのちをアミン

増聯禱

輔祭 われら諸聖人を記憶して、また又安和にして主に祈らん。



主あわれめよ

輔祭 われら、諸々の憂と、怒りと、危うきとを免かるゝがために主に祈らん。



主あわれめよ

(以下同じ)

輔祭 神や、爾の恩寵をもって、われらを佑け、救い、憐み、護れよ。

輔祭 この日の純全、成聖、平安、無罪ならんことを主に求む。



主たまえよ

(以下同じ)

輔祭 平安の神使、正しき教導師、わが靈体の守護者を賜わんことを主に求む。

輔祭 われらの罪と過ちとを宥め赦さんことを主に求む。

- 輔 祭 われらの靈に善にして益あること、および世界に平安を賜わんことを主に求む。
- 輔 祭 われらの生命の余日を平安と痛悔とをもって終らんことを主に求む。
- 輔 祭 われらの生命の終りが、ハリストニアニンに適い、病なく、耻なく、平安なること、およびハリストスの畏るべき審判に於て宜しき答えをなすを賜わんことを求む。
- 輔 祭 信の同一と、聖神の体合とを求めて、われら己の身、および互いに各々の身をもって、並びに悉くのわれらの生命をもって、ハリストス神に委託せん。



- 輔 祭 主、イイスス・ハリストス神の子よ、爾が至浄の母と諸聖人の祈禱によりて、われらを憐み給え。



天主経（主の祈り）



あるものをわれらゆるすがごとく、われらのおいめを
 ゆるしたまえ、われらをいざないにみちびかず、なお
 われらをきようあくよりすくいたまえ

輔 祭 至聖なる生神女や、われらのために神に祈り給え。

つねにさいわいにしてまったくきづなき生神女、
 わがかみのははなるなんじをさいわいなりととのうるはまこ
 とにあたれり、ヘルビムよりとうとくセラヒムにならびなくさ
 かえ、みさおをやぶらずしてかみことばをう
 みし、じつの生神女たる、なんじをあがめほむ

輔 祭 光榮は父と子と聖神に帰す、今も何時も世々に。

アーミン

輔 祭 主、イイスス・ハリストス神の子よ、爾が至淨の母と諸聖人と

の祈禱によりて、われらを憐み給え。



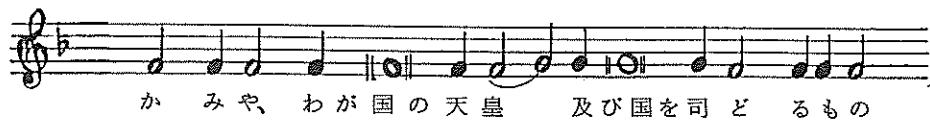
ア ミン

日本の大主教聖ニコライのトロパリ

A musical score consisting of eight staves of music in G clef. The lyrics are written below each staff.

使徒とひとしく 同座なるもの忠実
にして神智なるハリストスのえき者聖な
るしに選ばれたるふ々ハリストスの愛に満ち
たるうつわ、わがくにの光照
者西使徒主教聖ニコライよ爾の牧群
のためおよび全世界のため
いのちを保つ聖三者に祈りたまえ

萬壽詞



われらの府主教フェオードシイ・主教セラブム及びことごとくの正教のハリ
アミナス

ステイアニンらをいくとせにもまもりたまえ

輔祭職または祈禱の代表者、祈りを終り、頭を深く垂れ、三回十字を書きアナロイを離れ、南門より至聖所に入り、宝座に向い三回伏拝しステハリを脱ぎ、折りたゞみ、東に向い十字を書き、ステハリ背部の十字架に接吻し格納してから、北門より敬虔な態度で至聖所を出る。

1986年5月10日 印刷・発行

発行所 日本ハリストス正教会教団
東日本主教教区宗務局
仙台市中央3丁目4番20号
TEL 0222-25-2744
㈹ 980

印刷所 正教社
宮城県栗原栗駒町岩ヶ崎上小路
124-3
TEL 0228-45-5651
㈹ 989-53